

利用ソフトウェア	Adobe Photoshop Elements 5.0		
授業名	専門演習	名前	伊藤 博文

## 1. ソフトウェアの紹介

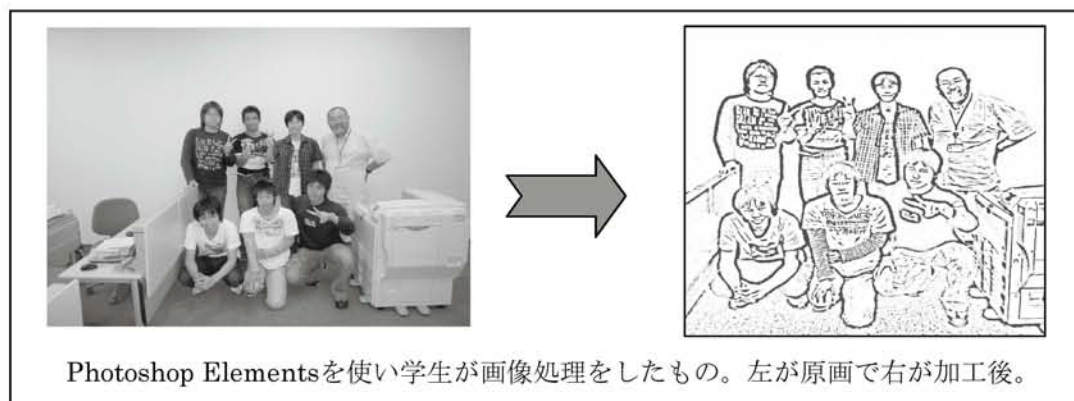
Adobe Photoshop Elements 5.0は、アドビ(Adobe)社の製品であるPhotoshopの廉価で普及版ソフトウェアである<sup>1</sup>。Photoshopは、静止画像に加工を施すフォトタッチツールを代表するソフトである。画像加工、イラストレーション、印刷業界などあらゆる画像分野で使用されており、この分野では代表的な存在である。

静止画像を加工するフォトタッチソフトには、Paint Shop ProやGIMPなども存在するが、プロのイラストレーターや写真家、画像加工を行う一般ユーザーにも広く浸透しており、画像加工・調整を行う場合の標準ソフトウェアとなっている。

## 2. 授業での利用

私の担当する法学部の専門演習では、このPhotoshop ElementsをK802教室で使用している。使用目的は、既述したように最新のフォトタッチソフトの操作に慣れるということであり、用途としては、Web作成におけるWebコンテンツとなる写真の加工である。

写真を加工する技術には、明るさやコントラストを変えるとといった単純な操作から、きめ細やかな色補正でもって不鮮明な画像の修復作業を行うといったレベルのものまである。私の演習では、法情報を発信するWebサイト構築を目指しており、こうしたサイトでも凝ったコンテンツを掲載するのが最近の傾向であり、こうした技術を習得することは重要と考えている<sup>2</sup>。



<sup>1</sup> この廉価版Adobe Photoshop Elements Ver7は、製品版14,490円であり、通常版Adobe Photoshop CS3は、製品版100,000円である。  
<<http://www.adobe.com/jp/products/photoshopelwin/>>

<sup>2</sup> 静止画の画像処理技術は、動画処理でも応用できるものであり、今後は動画加工処理技術を学ぶ予定である。